(79)栃木県鹿沼市の永野鉱山跡

参考文献(1)を手引きに探査を行った。この鉱山への道順は次のとおりである。栃木ICの下を通っている32号線を、北西方向に進んでいく。下永野地区で32号線をはずれ、進行方向左に伸びている199号線に入っていく。さらに北西へと進んでいく。大畑地区から山口地区に入るあたりで橋を渡ることになる。この橋を渡ってすぐに左側の林道へと入っていく。この林道はおおよそ西の方向に伸びている。図1の黒線である。破線の先まで車で上っていける。破線の終点あたりが永野鉱山跡である。

探査日 2011年 2月、その他

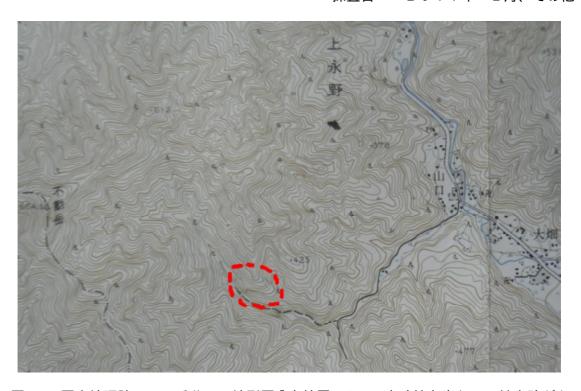


図1 国土地理院2万5千分の1地形図「中粕尾」より。赤破線丸当たりに鉱山跡がある。 この当たりまで林道は車(オフロード車ならば)で通行可。

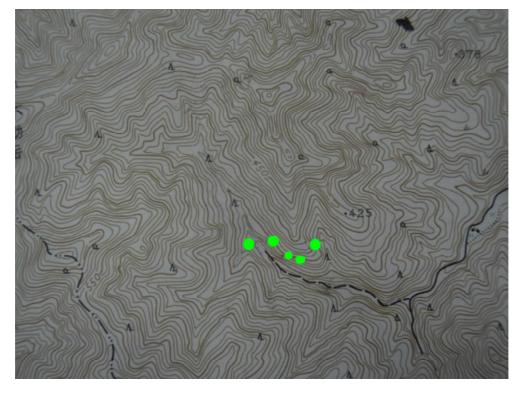


図2 図1の部分拡大。黄緑色が確認した坑口跡。坑口跡まで車で行ける。

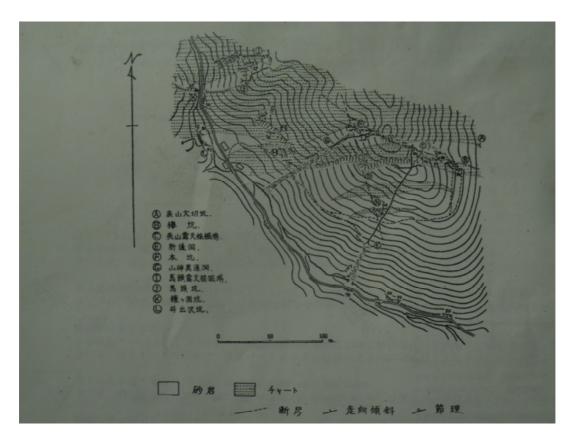


図3 永野鉱山地区地形地質図 (参考文献(1)より抜粋掲載)破線は道である。現在でも林道からの入口付近は不明瞭であるが、その先は立派に生きている。 H 点を経由して B 点まで探査することが出来た。その内に尾根当たりも探査してみたい。

鉱山跡写真



写真1 図3の建物(記号)が3つある当たり。一帯は少し平坦になっており、 施設跡と思われる。



写真2 写真1の右側斜面上方にあった 坑口跡の1つ。



写真3 他の坑口跡農地の1つ。

採集鉱物写真

幾つかの坑口跡は、図3に記載されている当たりで確認できた。ズリらしい跡も幾つか確認できた 出来たが、めぼしい標本は採集できなかった。

参考文献 (1) 地質調査所月報(第5巻、第4号)の「栃木県鹿沼地方マンガン鉱床調査報告(昭和28年2月~3月調査)」宮本弘道、高瀬博、丸山修司。

追記

図3には、坑口、採掘場所がA~Lまで10箇所もあったことが明記されている。これらの所を再確認したいし、いい標本が採集できるかも知れない。